

令和5年度
横浜市小学校図画工作教育研究会 総会

1. 日 時 令和5年4月26日(水) 午後3時00分～

2. 会 場 金沢公会堂

3. 内 容

(一) 開会の言葉

(二) 会長挨拶

(三) 市教委挨拶

(四) 議事

- ・令和5年度役員選出
- ・令和4年度事業報告
- ・令和4年度決算報告
- ・令和4年度監査報告
- ・令和5年度事業計画
- ・令和5年度予算案審議

(五) 令和5年度 研究の方針及び研究の主題について

(六) その他

(七) 閉会の言葉

4. 講 演 会

演題：「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて

～図画工作ってこんなに楽しい！～

講師：東京家政大学 教授 岡田 京子 氏



令和5年 4月26日
横浜市小学校図画工作教育研究会
推薦委員会委員長 上條 遥香

令和5年度

横浜市小学校図画工作教育研究会役員推薦について

規約第8条により、推薦委員会は令和5年度 横浜市図画工作教育研究会 会長に

現 青葉区 桂 小学校 寺澤 みゆき 校長

を推薦し、承認されております。つきましては、副会長・会計監査に以下の方々を推薦いたしますので、ご了承いただきますよう、お願いいたします。

副会長	相 沢 小学校 校長	宮路 ますみ 先生
	奈良の丘 小学校 校長	岩崎 健治 先生
会計監査	桂 小学校 副校長	川本 佳織 先生
	霧が丘学園 副校長	副校長 吉田 岳雄 先生

令和4年度 推薦委員(委員長○)

事務局	永淵 耕	不動丸小学校
研究局	長谷川 俊充	荏田西小学校

各区の代表	鶴見 区	小見 満菜美	豊岡小学校
	神奈川 区	黒田 理穂	西寺尾第二小学校
	中 区	森長 理沙	本牧小学校
	西 区	高宮 美香	浅間台小学校
	南 区	磯崎 裕人	六つ川台小学校
	港南 区	光荣 航	上大岡小学校
	保土ヶ谷 区	伊藤 元太郎	川島小学校
	○ 旭 区	上條 遥香	白根小学校
	磯子 区	久保沢 睦	洋光台第一小学校
	金沢 区	工藤 明美	釜利谷南小学校
	港北 区	佐野 美秀	港北小学校
	緑 区	塚口 歩美	長津田第二小学校
	青葉 区	式森 裕子	鴨志田緑小学校
	都筑 区	武田 照子	北山田小学校
	戸塚 区	松田 絵里	小雀小学校
	栄 区	阿野 早紀	飯島小学校
	泉 区	永谷 安樹子	下和泉小学校
	瀬谷 区	井上 佳菜子	瀬谷小学校

令和4年度 事業報告

1 事業局

<夏季実技研修部>

○造形美術体験ワークショップ 企画・運営

期日：令和4年7月26日(火),27日(水) 9時～16時

※前日準備 7月25日(月)

会場：横浜市桂小学校

<児童作品展部>

○4校種図画工作・美術・書道作品展（児童作品展） 企画・運営

期日：令和5年1月25日(水)～1月29日(日)

※搬入：1月24日(火) 搬出：1月30日(月)

会場：横浜市民ギャラリー

<広報部>

○夏季実技研修会での速報・記録・アンケート

○HP更新

○活動報告リーフレット

2 研究局

- (1) 研究主題にもとづいた研究活動の推進
- (2) 教育課程研究委員との連携による、教育課程編成全般にかかわる研究の推進
- (3) 公開授業研究会・第二次教育研究大会・実技研修会の開催・運営

特別講演会

日時 令和4年1月11日(水)

場所 横浜市立桂小学校

テーマ 「これからの時代に生きる図画工作教育の力」

講師 教育委員会事務局 学校教育企画部小中学校企画課指導主事 長谷川 聡 指導主事

研究発表会など

- ・第一次小学校教育研究大会 6月28日(水)
- ・教育課程研究協議会 8月23日(火)
- ・一斉授業研究会 12月6日(水)
- ・第二次小学校教育研究大会 2月14日(水)
- ・県小学校中央教育研究大会(横須賀地区大会) 2月7日(水)

令和5年3月8日
横浜市小学校図画工作教育研究会
会 長 寺澤 みゆき

令和4年度 横浜市小学校図画工作教育研究会 会計決算報告

1 収入 382,403 円

項目	予算額	決算額	備考
令和3年度繰越金	251,401	251,401	
会費(一人1,000円)	124,000	113,000	¥1,000×113名
市小学校教育研究会分配金	12,000	12,000	
市一斉授業研補助費	8,000	6,000	
利息	1	2	
合計	395,402	382,403	

2 支出 153,473 円

<内訳>

項目	予算額	決算額	摘要
広報	30,000	22,242	研究集録リーフレット印刷代
研究部会 運営補助費	15,000	15,000	3部会運営費(公開授業研)
年間計画印刷製本代	40,000	35,750	「組織と運営」印刷製本代
児童作品展補助費	80,000	70,600	材料費・台紙・運送代など
歓送迎会費	20,000	0	
事務費	7,000	9,881	振り込み手数料・除菌シート 夏季実技研ポスター用紙代 など
予備費	203,402	0	
合計	395,402	153,473	

3 残金 228,930 円

上記の通り、報告致します。
なお、残金 228,930円 は、次年度に繰り越します。
令和5年 3月 8日

会計担当 江口 裕美

会計担当 細野 小百合

監査の結果、相違ないことを認めます。
令和5年 3月 20日 横浜市小学校図画工作教育研究会 会計監査

同 会計監査

江口 裕美
川本 佳織

横浜市図画工作研究会年間計画

R5.4.26

日程/会場		内 容(市研内容は昨年度のものを記載しています)
4	【3月初旬】 会場/未定	☆新年度組織案作成(会長・副会長)
	12日(水)	□区 研 15時30分 ・市図工会員入会案内 ・市役割(事業部責任者担当など)確認
	26日(水) 会場/ 金沢公会堂	◎総 会 15時00分 ◇準備は14時30分 ・新役員選出(副会長・会計監査)・研究部、事業部年間計画など 【講演会】(演題調整中) 【講 師】東京家政大学 教授 岡田京子様
5	10日(水) 会場/緑小学校	◆市 研 15時30分 《全体会》○会長あいさつ ○研究局 ※授業者決定 ○事務局から
	17日(水)	□区 研 15時30分 ・市図工研究会の主な事業の紹介
6	7日(水) 会場/未定	◎市 研 15時30分～ 《事業部会》 ○部長・副部長を中心に下記について検討し、会員の共通理解を図り、見通しをもつ。 〈夏季実技研修部〉造形体験ワークショップ計画案、夏季実技研部提案 〈児童作品展部〉 課題整理、活動計画案作成 役割分担整理 《全体会》 ○市教育委員会、会長あいさつ ○事業部会からの報告 《研究部 低学年・中学年・高学年 部会》 ○組織編成 ○研究内容と実践の視点確認
	14日(水)	□区研 15:30～
	28日(水)	■第1次小学校教育研究大会 14:30～ 場所:神奈川県立音楽堂
7	5日(水) 会場/未定	◎市 研 15時30分～ 《全体会》 事業部ごとに集まり ◎必要に応じて研究局からの方針説明
	12日(水)	□区 研 15時30分
	24日(月) 会場/桂小学校	◎夏季実技研修前日準備
	25日(火) ～ 26日(水) 会場/桂小学校	【夏季実技研修会/造形体験ワークショップ】 低中高学年別にいろいろな題材を取り上げて研修 会場にて参加費の徴収
8	17日(水)	□区 研 区毎に計画
	18日(木)	■県教育課程研究協議会(午後:ハイブリッド)
	22日 or 23日 会場/未定	【横浜市教育課程研究協議会】 図画工作・美術/小中合同研究会

9	6日(水) 会場/未定	◎市研 15時30分～ 《研究部 低学年・中学年・高学年 部会》実践提案 《全体会》 研究部会終了後 ◎必要に応じて各事業部の企画会
	13日(水)	□区研 15時30分
10	4日(水) 会場/未定	◎市研 15時30分～ 《研究部 低学年・中学年・高学年 部会》 12月市一斉公開授業研 指導案検討① 《全体会》 研究部会終了後 ◎必要に応じて各事業部の企画会
	11日(水)	□区研 15時30分
11	1日(水) 会場/未定	◎市研 15時30分～ 《研究部 低学年・中学年・高学年 部会》 12月市一斉公開授業研 指導案検討② 《全体会》 研究部会終了後 ◎必要に応じて各事業部の企画会
	8日(水)	□区研 15時30分
	27日(金)	第63回関東甲信越静地区造形教育研究大会 埼玉大会 〈開催に関して〉ハイブリッド開催(現地及びオンライン:埼玉県以外はオンライン参加)
12	6日(水) 会場/各会場校	【市一斉公開授業研究会】 低学年・中学年・高学年 部会 ※授業者は5月市研で決定(★納め会)
	13日(水)	□区研 15時30分～
1	10日(水) 会場/未定	◎市研 15時30分～ 《研究部 低学年・中学年・高学年 部会》 12月市一斉公開授業研究会振り返り 第二次教育研究大会検討 《全体会》 研究部会終了後 ◎必要に応じて各事業部の企画会 ☆推薦委員会立ち上げ(各区部長・研究部部長・書記)
	17日(水)	□区研 15時30分
	24日(水) ～28日(日)	児童作品展(横浜市民ギャラリー) 搬入:23日(火) 搬出:29日(月) 会期:24日(水)～28日(日)
2	7日(水)	■県小学校中央教育研究大会(横須賀地区大会)
	14日(水) 会場/未定	◎市研 【第二次教育研究大会】15時～ 研究局各部会のまとめ 事業部(夏季実技研部・児童作品展部)のまとめ
	21日(水)	□区研 15時30分 市児童作品展 作品返却 研究のまとめ
3	6日(水) 会場/未定	◎市研 ○3月総会 15時30分～ ・研究のまとめ・次年度会長選出
	【3月初旬】 会場/未定	☆新年度組織案作成(会長)

☆この先の情勢等により、予定変更の可能性があります。

☆各部の企画会については、世話人校長と相談し、サービスと規律と自主性を尊重して進めてください。

→必ず会長に事前に報告してください。

☆企画会(役員会)などの日程(時程)・場所については、変更することがあります。その都度参加者宛にお知らせをします。
ご注意ください。

令和5年度 市図画工作教育研究会 年間計画

2023年

○:市研日 □:A研日 △:B研日 ☆:企画会など

4月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						
未定 企画会 27日 4月総会						

5月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

6月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	
28日 第一次教育研究大会						

7月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					
★24日～26日 夏季実技研修会(前日準備含む)						

8月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		
22or23日教育課程						

9月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

10月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

11月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	
27日 関東甲信越静地区造形教育研究 埼玉大会(ハイブリッド開催)						

12月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						
6日 市一斉公開授業研						

2024年

1月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			
★24日～28日 児童作品展						

2月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29		
14日 第二次教育研究大会 未定 企画会						

3月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						
6日 3月総会 未定 企画会						

令和5年4月3日
 横浜市小学校図画工作教育研究会
 会 長 寺澤 みゆき

令和5年度 横浜市小学校図画工作教育研究会 予算案

1 収入 359,931 円

項目	予算	前年度実績	備考
令和4年度繰越金	228,930	251,401	
会費(一人1,000円)	113,000	113,000	¥1,000×113名
市小学校教育研究会分配金	12,000	12,000	
市一斉授業研補助費	6,000	6,000	
利息	1	2	
合計	359,931	382,403	

2 支出 359,931 円

<内訳>

項目	予算	前年度実績	摘要
広報	30,000	22,242	研究集録リーフレット印刷代
研究部会 運営補助費	15,000	15,000	3部会運営費(公開授業研)
年間計画印刷製本代	40,000	35,750	「組織と運営」印刷製本代
児童作品展補助費	80,000	70,600	材料費・台紙・運送代など
歓送迎会費	20,000	0	
事務費	10,000	9,881	振り込み手数料・除菌シート 夏季実技研ポスター用紙代など
予備費	164,931	0	
合計	359,931	153,473	

3 差引残高 0円

令和5年度 横浜市小学校図画工作教育研究会 研究概要

研究局

研究主題

感性豊かに生きる力をはぐくむ図画工作科学習の創造
～感じる つくる 考える 子どもの姿を求めて～

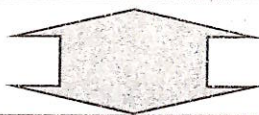
部会テーマ

低学年部会	思いのままに つくることを楽しむ子どもの姿を目指して
中学年部会	工夫して つくることを楽しむ子どもの姿を目指して
高学年部会	効果的に つくることを楽しむ子どもの姿を目指して

※個別支援級担任は任意にて各所属へ

研究内容

1. 「学習の方向性」を基に育成を目指す資質・能力を明確にしたカリキュラム・マネジメント
2. 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善における子どもの変容



研究内容具現化のベース

○出あいの工夫 魅力的な出あい（題材、材料、表現方法、人など）を設定すること。	○場の設定の工夫 子どもの資質・能力を引き出す効果的な場（学習環境）の設定をすること。	○共感的支援の工夫 対話や相互鑑賞などによる共感的支援（評価規準の設定）をすること。
--	--	---

○小中一貫の視点

9年間の連続した学習活動の流れを意識して指導の工夫（カリキュラム・マネジメント）をすること。

1、研究主題「感性豊かに生きる力をはぐくむ図画工作科学習の創造」について

(1) 感性豊かに

「感性」は、様々な対象や事象を心に感じ取る働きであるとともに、知性と一体化して創造性をはぐくむ重要なものです。表現及び鑑賞の活動においては、子どもは視覚や触覚などの様々な感覚を働かせながら、自らの能動的な行為を通して、形や色、イメージなどをとらえています。これを手掛かりに子どもは発想をしたり、技能を活用したりしながら、自分自身に問いかけ、他者や社会と交流し、主体的に表現したり、面白さやよさ、美しさなどを感じ取ったりしています。また、感じ取ったことをもとに、自己を形成したり、新しい意味や価値を創造したりしています。

「感性豊かに」とは、このような子ども自身の感覚や感じ方、表現への思いなど、自分の感性が十分に発揮されていることを示しており、図画工作科においては、特にその状態を実現するような学習の充実を図ることを目指していきます。

(2) 生きる力をはぐくむ

子どもにとって何かをつくり出すということは、自分が思ったり感じたりしたことを、自分らしい形や色で面白さやよさ、美しさを目指し、意味や価値をつくりだしていく活動です。本研究局は、子どもがそのような造形活動に夢中になり、つくり・つくりかえ・つくる行為が連続している状態を「楽しんでいる姿」としてとらえています。子どもの発達に応じて、自らが創造することの楽しさを十分に味わう姿の具現化を、研究の大きな柱とします。

学校で学んだことが、子どもたちの「生きる力」となって、明日の、その先の人生につながってほしい。これからの社会がどんなに変化して予測困難な時代になっても、自ら課題を見付け、自ら学び、自ら考え、判断し行動し、それぞれに思い描く幸せを実現してほしい。そして、明るい未来を創っていきたい。

これまでに大切にされてきた、子ども達に「生きる力をはぐくむ」という目標はこれからも変わることはありません。さらに、社会の変化を見据え、新たな学びへと進化をさせていきます。

2、副題 ～感じる つくる 考える 子どもの姿を求めて～について

研究主題を受けて、副題を～感じる つくる 考える 子どもの姿を求めて～と設定しました。それぞれの姿を次のように想定しました。

「感じる」

材料や用具、場所、空間、自分たちの作品、親しみのある美術、目的やテーマなどに出会い、形や色などをとらえ、つくり出す喜びを味わうとともに、新しい意味や価値をつくりだしている子どもの姿。

「つくる」

対象や事象を造形的な視点でとらえ、表し方などを工夫して創造的につくったり表したりしている子どもの姿。

「考える」

材料や場所、目的やテーマなどを基に、創造的に発想や構想を練ったり、造形的な面白さやよさ、美しさなどについて考えたりし、自分の見方や考え方を深めている子どもの姿。

これらの「感じる・つくる・考える」には、順序性はなく、連続した子どもの活動のなかで常に行きつもどろりしながら行われる主体的な表現活動の営みであるにとらえることができます。

また、「感じる・つくる・考える」は、本研究会がこれまでも大切にしてきた、図画工作科学習の過程における子どもたちの「つくり・つくりかえ・つくる」姿、自らが創造することの楽しさを十分に味わっている姿の追究とも重なる内容であり、図画工作科における資質・能力の向上を目指していくなかで大切にしたい子どもの学びの姿であると考えます。また、子どもの「感じる・つくる・考える」を大切にすることは、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善や、「造形的な見方・考え方」を働かせる学びづくりにもつながっていると考えています。

3、研究局 各部会について

部会テーマ		
低学年部会	思いのままに	つくることを楽しむ子どもの姿を目指して
中学年部会	工夫して	つくることを楽しむ子どもの姿を目指して
高学年部会	効果的に	つくることを楽しむ子どもの姿を目指して

※個別支援級担任は任意にて各所属へ

(1) 部会設定の理由

学習指導要領では、教育課程全体を通して育成を目指す資質・能力を三つの柱に整理するとともに、各教科等の目標や内容についても、資質・能力の三つの柱で整理されています。三つの柱で示された資質・能力は相互に関連しながら働くものです。これらを踏まえ、図画工作科で育成を目指す資質・能力の全体を見渡し、相互の関連性を考えながら研究を進めることができるように、低学年ブロック・中学年ブロック・高学年ブロックの学年ごとの部会編成にしました。なお、個別支援級の児童は様々な学年の児童が在籍することから、任意にて所属部会を決めていただきます。

(2) 部会テーマについて

低学年部は、「思いのままにつくることを楽しむ子どもの姿を目指して」です。第1学年及び第2学年の目標と内容の解説※で、「この時期の児童は、周りの人、物、環境などに体ごと関わり全身で感じるなど対象と一体となって活動する傾向がみられる。」「つくりながら考えたり、結果にこだわらずに様々な方法を試したり、発想が次々と展開したりするなどの様子も見られる。」「身の回りの作品や材料などを見たり触ったりしたときの素直な驚きや喜びを大切にすること」が示されています。このような低学年の児童の発達段階や目標を踏まえ、表現及び鑑賞の活動を通して、思いのままにつくることをテーマとして設定しました。

中学年部は、「工夫してつくることを楽しむ子どもの姿を目指して」です。第3学年及び第4学年の目標と内容の解説※では、「この時期の児童は、表し方を工夫することに意欲を示したり、想像したことを実現することに熱中したりする。また、手などはたらきも巧みさを増し、扱える材料や用具の範囲が広がり、多様な試みが見られるようになる。」「いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げること。いろいろな表し方などは、学習や様々な経験などを踏まえ、前学年に比べて多様になる表し方や表現方法などのことである。」ことが示されています。この時期の子どもは表現が広がったり、多様な試みをしたりすることが顕著になります。このような発達段階や目標を踏まえ、表現及び鑑賞の活動を通して、工夫してつくることをテーマとして設定しました。

高学年部は、「効果的につくることを楽しむ子どもの姿を目指して」です。第5学年及び第6学年の目標と内容の解説※では、「様々な視点から自分の行動や考えを検討したり、友人の立場に立ってその心情に思いを巡らせたりするようになる。」「材料を用いたり、用具を使ったりしながら、その効果や可能性を確かめ、それらを生かして使う。」「一人一人の見方や感じ方などが育つてくると同時に、物事を他者や社会的な視点から捉えるようになる姿が見られる。」ことが示されています。このような発達段階や目標を踏まえ、表現及び鑑賞の活動を通して、効果的につくることをテーマとして設定しました。

なお、研究主題を受け、いずれの部会のテーマも「つくることを楽しむ子どもの姿を目指して」としました。

4、研究内容について

研究内容

1. 「学習の方向性」を基に育成を目指す資質・能力を明確にしたカリキュラム・マネジメント
2. 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善における子どもの変容

1. 「学習の方向性」を基に育成を目指す資質・能力を明確にしたカリキュラム・マネジメント

子どもの実態に合わせて、何をよりどころに、どのような考えを大切にして題材設定、授業実践をしていったらよいか、ということの研究していきます。「学習の方向性」とは、学習指導要領の目標及び内容から導き出したもので、子どもの「造形的な見方・考え方」を働かせ、資質・能力を育むための学習活動の在り方や方向性を示しています。教師にとっては、指導内容や支援の方向性を示すとともに、題材を設定する根拠となるものです。「学習の方向性」を根拠に題材を設定することで、題材で指導すべき内容が分かり、学習指導要領、横浜市立学校カリキュラム・マネジメント要領学習評価編を根拠に指導と評価を設定することで、育成する資質・能力を明確にすることができます。各学校の子どもの実態に合わせて、目指す資質・能力をどのように題材に落とし込み、カリキュラム・マネジメントしていくことが大切になっていきます。今年度は、〔共通事項〕を指導事項として取り入れ、育てたい資質・能力をより具体的なものとして捉え直していきます。

2. 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善における子どもの変容

図画工作科で目指す資質・能力の育成に向けて、「主体的・対話的で深い学び」の視点を入れた授業改善を図り、学習の中での子どもの姿を見取っていくことで研究を進めていきます。子どもが学習の見通しを立てたりふりかえったりして自身の学びや変容を自覚し主体的に学習に取り組んだり、対話によって自分の考えを広げたり深めたりしながら、「造形的な見方・考え方」を働かせる中で、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力を育成していきます。本来備わっている子どもの資質・能力を一層伸ばすという視点を大切にしつつ、育成を目指す資質・能力を明確にし、児童の発揮している資質・能力を的確にとらえ、授業づくりに生かしていきます。そして、学習の中での子どもの変容の姿を見取り、授業後の教師の授業改善や子どもの学習改善につなげていきます。

この2つの研究内容は、どちらかだけを考えていけばよいということではなく、両者を大切にしながら授業づくりをしていく必要があります。この研究内容1・2を踏まえて研究を進めていきます。

5、研究内容具現化のベース

研究内容具現化のベース

○出あいの工夫 魅力的な出あい（題材、材料、表現方法、人など）を設定すること。	○場の設定の工夫 子どもの資質・能力を引き出す効果的な場（学習環境）の設定をすること。	○共感的支援の工夫 対話や相互鑑賞などによる共感的支援（評価規準の設定）をすること。
○小中一貫の視点 9年間の連続した学習活動の流れを意識して指導の工夫（カリキュラム・マネジメント）をすること。		

研究内容1・2を支えるものとして、上記の3つの工夫と1つの視点が欠かせない要素です。題材の中で育成を目指す資質・能力と関連付けて、3つの工夫と1つの視点を具体的にしていきます。

○出あいの工夫

題材を通して出あう、〈もの〉〈こと〉〈人〉などによって活動に向かう意欲が引き出され、資質・能力が育まれていきます。

○場の設定の工夫

活動を行う場所がどのようになっているかも重要です。活動に必要な情報が提示されていれば、いつでも子どもは確認することができますし、材料や用具が整理して置いてあるだけで、発想が広がっていくことでしょう。安全面も十分に配慮する必要があります。

○共感的支援の工夫

学習活動の主役である子どもたちを共感的に支援することです。題材目標から評価規準を設定することで、試行錯誤している姿をとらえ励ますことや、よさを見付け、具体的に伝えていくことができます。また、対話や相互鑑賞等を取り入れ、子どもの活動意欲を継続的に支えていくことも重要です。

○小中一貫の視点

9年間の中でどの学年のどの題材で子どもたちがどんな経験をして本題材に至るのか、あるいは、その後のどのような題材でさらに資質・能力を高めていくのか、9年間の資質・能力を育成するつながりの中でとらえて指導に生かす視点(カリキュラム・マネジメント)です。

令和5年度 研究計画

○研究局 世話人 (青葉区 奈良の丘小学校校長 岩崎健治 港南区 上大岡小学校校長 竹下護)
 ○研究局長 (荏田西小 長谷川俊充) ○副局長 (阿久和小 高木圭)
 ○リーダー
 (相沢小 村松美佐 石川小 山本佳代 西寺尾小 笠本健太 すみれが丘小 猪股千香 長津田小 杉崎有平)

日程	内容		
4月26日	総会 【研究方針説明(研究局長)】 講演会 東京家政大学 教授 岡田 京子 氏		
5月10日	今年度の運営に向けて 【研究内容説明、組織編成、授業者決定、実践提案略案・指導案の形式(研究局長、リーダー)】		
6月7日	学習会 【実技研修をもとに資質・能力の育成について考える(研究局長、副局長)】		
7月5日	実践提案① 【指導案、研究内容についての振り返り、資料(提案者、リーダー)】		
	【低学年】	区 小学校	先生
	【中学年】	区 小学校	先生
9月6日	実践提案② 【指導案、研究内容についての振り返り、資料(提案者、リーダー)】		
	【高学年】	区 小学校	先生
	【低学年】	区 小学校	先生
10月4日	市一斉授業研究会指導案検討① 【研究内容の具現化のベースを中心に検討(授業者、リーダー)】		
11月1日	市一斉授業研究会指導案検討② 【本時の活動、資質能力をみとるための手立てを中心に検討(授業者、リーダー)】		
12月6日	市一斉授業研究会 【当日の運営(授業者、リーダー)】		
	【低】 区 小学校	【中】 区 小学校	【高】 区 小学校
		先生	先生
1月10日	実践提案③ 【指導案、研究内容についての振り返り、資料(提案者、リーダー)】		
	【中学年】	区 小学校	先生
	【高学年】	区 小学校	先生
2月6日	第二次教育研究大会		
	研究局 【研究のまとめ】	夏季実技研修部 【夏季実技研まとめ】	市児童作品展部 【作品展まとめ】
3月6日	総会 【次年度の研究の方向性(研究局長)】		

- 会場は、4月＝金沢公会堂、12月は、各授業者校、その他の市研会場は、未定。
- 実践提案、市一斉授業研究会、第二次教育研究大会の提案は、研究内容を踏まえたものとする。
- 実践提案は全体会とし、略案に加えて「研究内容についてのふりかえり」をつけて提案する。
- 市一斉授業研究会は、低学年、中学年、高学年の3会場に分かれて開催する。
- 第二次教育研究大会(研究局、夏季実技研修部、市作品展部)は、研究内容を活かした実践の提案とする。開始時刻は15:00に設定し、全体会とする。
- 横浜市教育委員会教育課程研究委員会とも情報を共有し合い、連携して研究を推進していく。

